

科目コード	S26118	科目名	生涯発達心理学				
履修区分	必修	開講期	1年後期	授業回数	15回	単位数	2単位
担当者	西村 祐一						
授業の概要	我々は人間の誕生から死に至るまで様々な発達を成し遂げます。それは各分野の能力において、ある時期に急激に発達するものや徐々に発達するものがあります。本授業では各発達時期（乳児期・幼児期・児童期・青年期・成人期・老年期）に分けて、それぞれに特徴的な発達を説明していきます。また、発達障害を学ぶことで健常者との違いも理解していきます。						
DPとの関連	人間を広い領域から捉え、人を愛する心と専門技術を統合できる能力を身につける						
	言語聴覚障害学について深い専門的知識を修得し、それを臨床において適切に応用することができる能力を身につける						
	職務遂行に必要な社会性、倫理観、専門職業人としての自覚を身に付け、多様な患者、家族、医療・福祉関係者等と円滑なコミュニケーションを取ることができる能力を身につける						
	複雑で多様な障害について常に科学的に探究する姿勢をもち、積極的に自己研鑽し続ける能力を身につける						
到達目標	DP：ディプロマ・ポリシー（修了認定の方針）= 修了までに身に付けるべき資質・能力 生涯発達心理学言語発達に関する基本的な事項が理解できること。						
履修上の注意事項	楽しい授業にするために、皆さんの積極的な参加を求めます。						
授業計画	回数	講義内容【担当教員】			事前・事後学修		
	1	ガイダンス、発達とは、発達の規定因、研究法			・事前：教科書 p.170-175を読む（120分） ・事後：レジュメを読む、当該の国試の過去問を解く（120分）		
	2	発達理論：ピアジェの発達理論、同化と調節、均衡化			・事前：教科書 p.175-176を読む（120分） ・事後：レジュメを読む、当該の国試の過去問を解く（120分）		
	3	発達理論：フロイトの発達理論、エリクソンの発達課題			・事前：教科書 p.176-177を読む（120分） ・事後：レジュメを読む、当該の国試の過去問を解く（120分）		
	4	発達理論：ハヴィガーストの発達課題、ヴィゴツキーの発達理論			・事前：教科書 p.177-179を読む（120分） ・事後：レジュメを読む、当該の国試の過去問を解く（120分）		
	5	第1回～第6回までの授業範囲で出題されている言語聴覚士国家試験過去問題を解く			・事前：過去問題を解く（120分） ・事後：レジュメを読む、当該の国試の過去問を解く（120分）		
	6	新生児期・乳児期：知覚・認知の発達			・事前：教科書 p.180-185を読む（120分） ・事後：レジュメを読む、当該の国試の過去問を解く（120分）		
	7	新生児期・乳児期：運動の発達、感情の発達、他者の志向性と他者の意識への関心、愛着			・事前：教科書 p.185-191を読む（120分） ・事後：レジュメを読む、当該の国試の過去問を解く（120分）		
	8	幼児期・児童期：認知機能の発達、遊びと社会性の発達			・事前：教科書 p.192-194を読む（120分） ・事後：レジュメを読む、当該の国試の過去問を解く（120分）		
	9	幼児期・児童期：自己・他者認知の発達、保育・学校教育と発達			・事前：教科書 p.194-199を読む（120分） ・事後：レジュメを読む、当該の国試の過去問を解く（120分）		
	10	青年期：親子関係・友人関係、自我同一性の確立、知的機能の発達について学ぶ。			・事前：教科書 p.199-204を読む（120分） ・事後：レジュメを読む、当該の国試の過去問を解く（120分）		
	11	成人期：職業生活、家族生活、ワークライフバランス、成人期の自我同一性について学ぶ。			・事前：教科書 p.204-210を読む（120分） ・事後：レジュメを読む、当該の国試の過去問を解く（120分）		
	12	老年期：エイジングとパーソナリティ、生きがい、知的機能、死への対応、ポジティブ・エイジングについて学ぶ。			・事前：教科書 p.211-218を読む（120分） ・事後：レジュメを読む、当該の国試の過去問を解く（120分）		
	13	6回目～12回目の授業範囲で出題されている言語聴覚士国家試験過去問題を解く			・事前：レジュメを読む（120分） ・事後：レジュメを読む、当該の国試の過去問を解く（120分）		
	14	乳児期～児童期までのまとめ			・事前：レジュメを読む（120分） ・事後：レジュメを読む、当該の国試の過去問を解く（120分）		
	15	青年期～老年期までのまとめ			・事前：レジュメを読む（120分） ・事後：レジュメを読む、当該の国試の過去問を解く（120分）		
成績評価方法	期末試験100% ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。						
教科書	書名・著者（出版社）					ISBNコード	
	最新言語聴覚学講座 心理学（心の動き）（医歯薬出版）					978-4-263-27077-6	
参考書	言語聴覚士テキスト 第4版 【大森孝一・永井知代子・深浦順一・渡邊修（編）】（医歯薬出版）					978-4-263-26690-8	
教員からのメッセージ	基本的に書き込み式のレジュメと教科書で講義を進めていきます。						
教員との連絡方法	初回講義時に伝えます。						
実務経験のある教員	医療系専門学校で心理学の講義をしていた言語聴覚士の教員が臨床経験、指導経験を生かして授業を行います。						